

第2回 新大阪駅周辺地域に導入すべき都市機能について

1. 新大阪駅周辺地域の担うべき役割(前回会議の内容の確認)

- (1)スーパー・メガリージョンの西の拠点
- (2)広域交通ネットワークの一大ハブ拠点
- (3)関西・西日本・アジアのゲートウェイ

2. 新大阪駅周辺地域に導入すべき都市機能(今回の議論)

①導入すべき都市機能を考える視点

地理的条件(広域・大阪都市圏)、ターゲット目線、デジタル社会の進展

②導入すべき都市機能の考え方

- ・世界・日本全体を視野に入れた広域的に交流を促進する機能
- ・日本各地をつなぐ広域交通と地域交通の交通結節点としての機能
- ・愛着を感じる都市空間としての機能

- ・スーパー・メガリージョンの西の核としてふさわしいエリアとなるよう、新大阪に近接する十三、淡路が一体となって面的連携力を高め、交通利便性やうめきたとの近接性などを最大限に活かし、多様な人や情報が集まり、新たな価値を生み出し、災害に強い広域的な都市拠点の形成をめざす。

(1) スーパー・メガリージョンの西の拠点

- ・世界の主要都市に対抗できる大阪都市圏におけるグローバル拠点
- ・本社機能などの高度な都市機能や首都機能をバックアップする、日本の成長を支える拠点
- ・うめきたなどの関西の都市拠点と連携し、西日本、北陸をも視野に入れて、スーパー・メガリージョンの効果を最大限に発揮する西日本の中枢拠点

(2) 広域交通ネットワークの一大ハブ拠点

- ・国内外から多様な人と情報が集まる交流拠点、国際ビジネス拠点、観光滞在拠点、インバウンドの送客拠点、エリア拠点
- ・新幹線ネットワークの中央駅的な役割を果たし、空港、鉄道、高速道路が一体となって日本国内(西日本)の拠点と、アジアを中心とする世界の拠点をつなぐ人・情報の結節点

(3) 関西・西日本・アジアのゲートウェイ

- ・新大阪駅周辺地域の個性や関西・日本・アジアの歴史・文化、自然等が感じられる景観・空間
- ・関西の観光・文化・医療・技術力などの情報発信の拠点

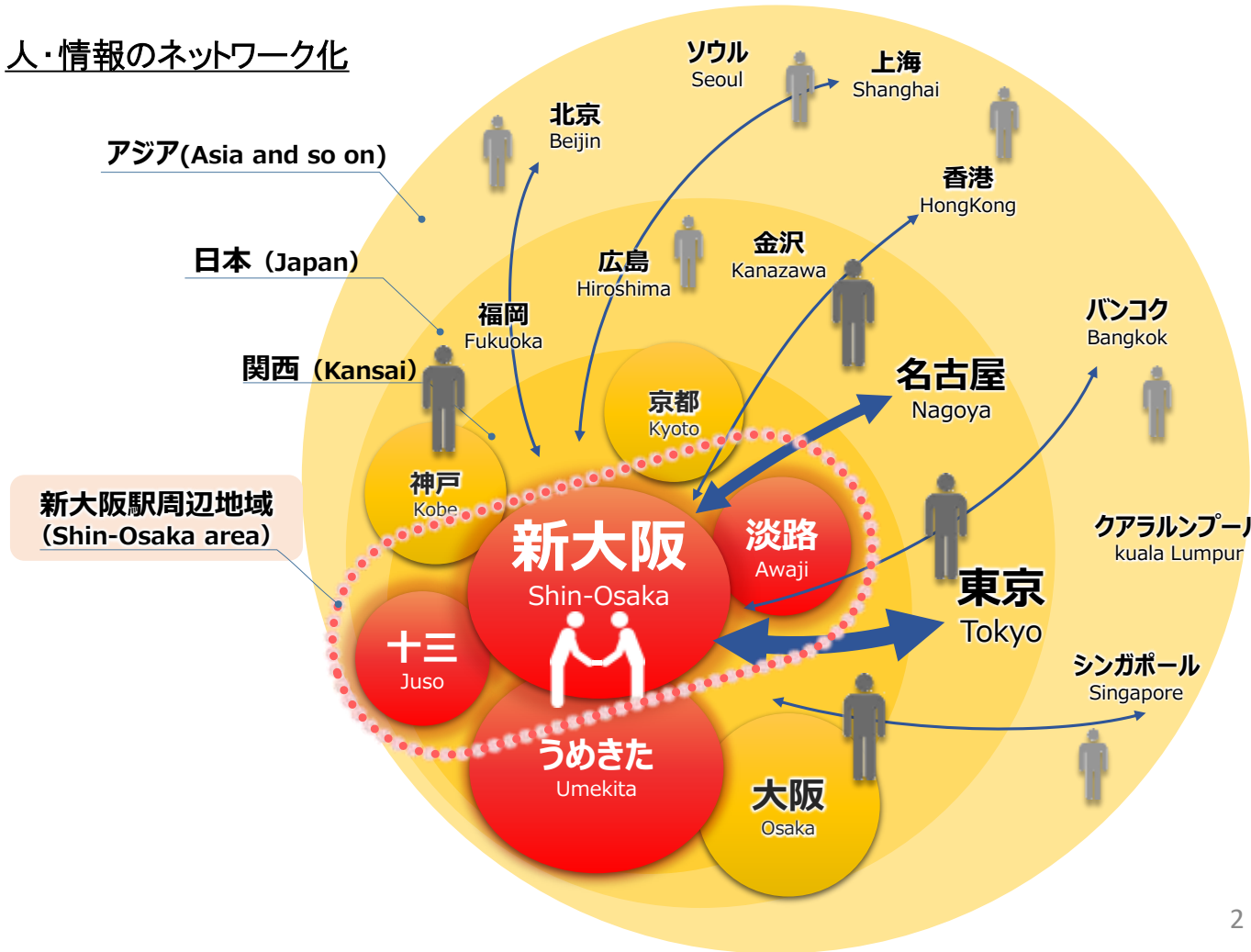
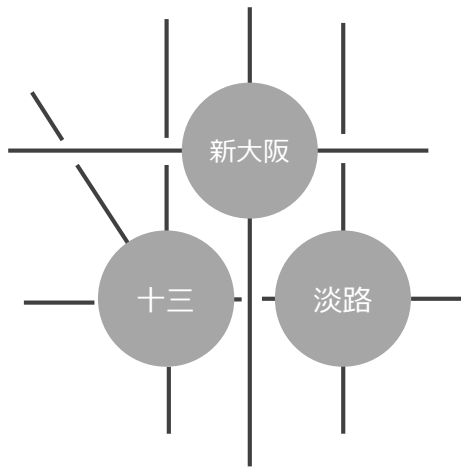
新大阪駅周辺地域(十三～新大阪～淡路)が、
鉄道乗り換え駅から、複合的な結節機能を有する都市拠点へ

○乗り換え駅、独立した機能

○一体的に、都市拠点、交通結節、ゲートウェイの役割を担うことによる都市格の向上
○海外、日本、関西の都市拠点とつながる新大阪駅周辺地域のまちづくりが、日本の改造につながる

人・情報のネットワーク化

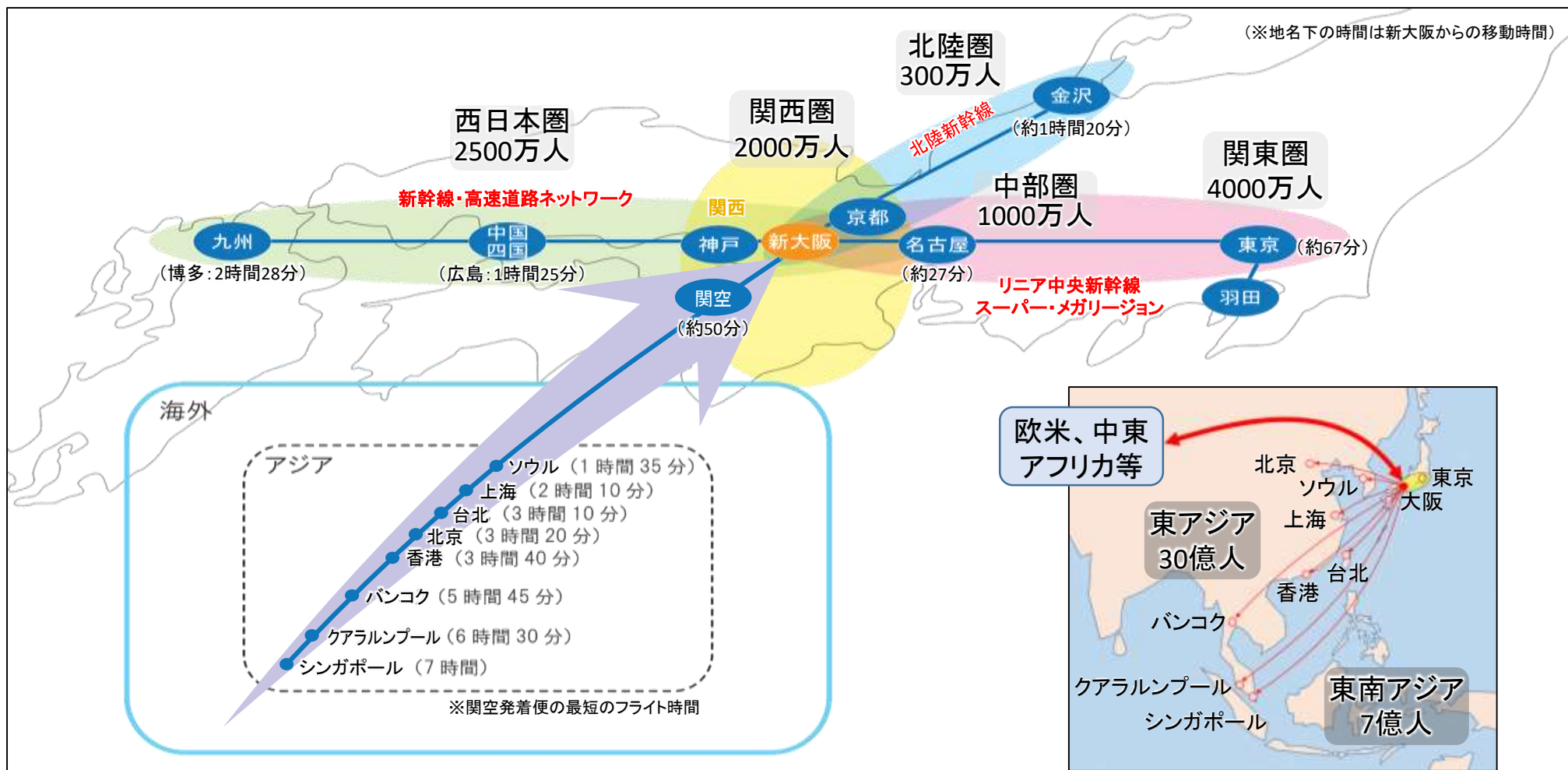
人の移動(主に乗換機能)



導入すべき都市機能を考える視点(1) 【地理的条件①(広域のハブ拠点)】

○新大阪駅周辺地域は、スーパー・メガリージョン、アジア・世界、西日本、北陸各地をつなぐ新幹線や高速道路などの広域交通のハブ拠点であり、広域で活動する人たちが交流を重ねるのに適した場所

⇒ 海外をはじめとする他の都市圏の情報、文化が、人間関係を構築することで融合し、新たな価値を創り出し、日本の成長につなげる

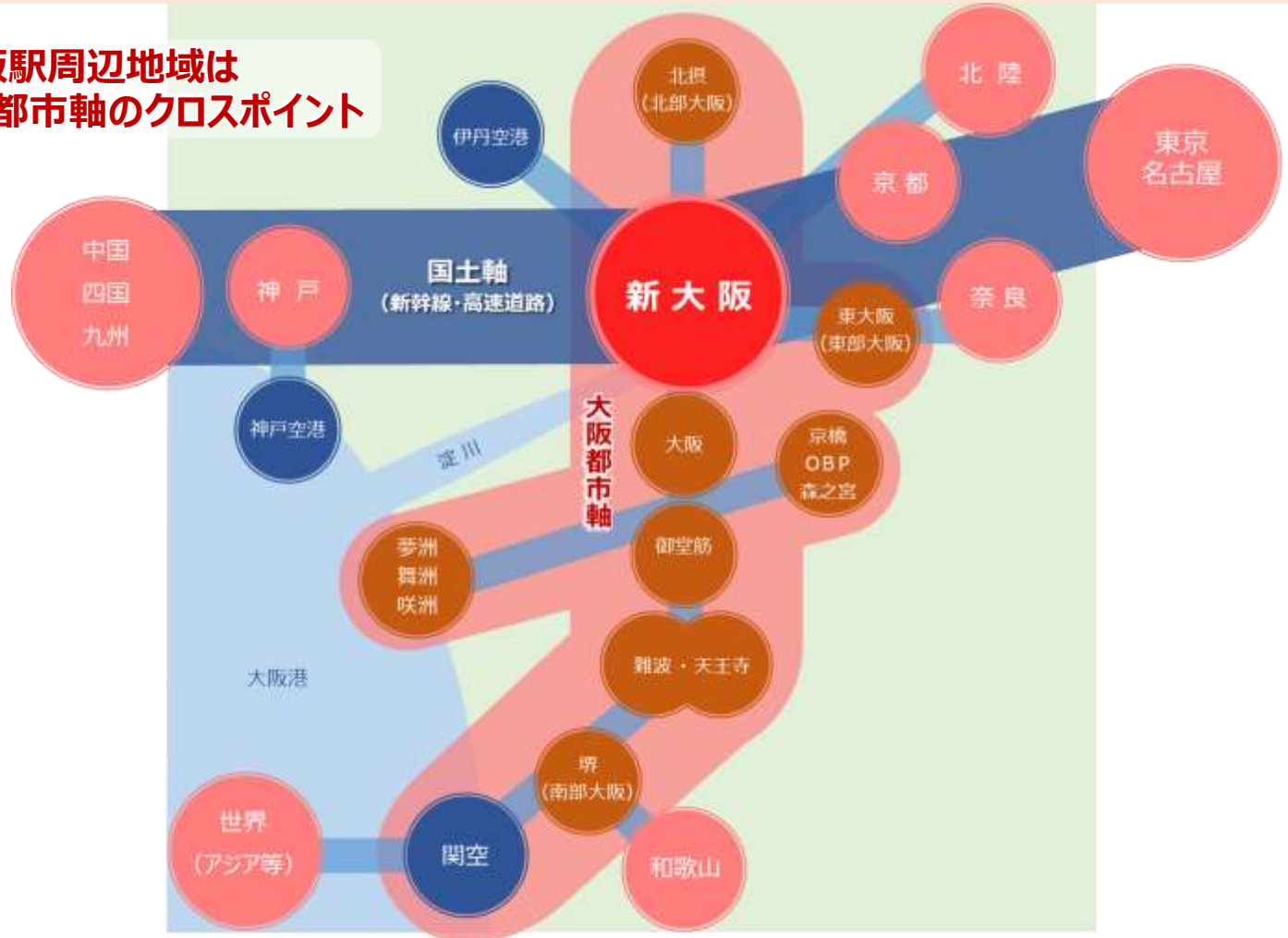


導入すべき都市機能を考える視点(1) 【地理的条件②(関西拠点と広域をつなぐ)】

○新大阪駅周辺地域は、国土軸と大阪都市軸のクロスポイントであり、日本各地、アジアなどと、関西の各拠点をつなげる場所

⇒ 新大阪駅周辺地域が、関西の各拠点にアジア、日本各地の新しい価値を引き込み、人、モノ、情報の好循環を生むことで、都市全体としての厚みが増し、各拠点の活性化が促進され、大阪・関西全体の発展を押し上げる

**新大阪駅周辺地域は
国土軸と大阪都市軸のクロスポイント**



導入すべき都市機能を考える視点(2) 【ターゲットの目線から求められるもの】

○ビジネス・観光等を目的により多くの人を訪れることとなる新大阪駅周辺地域において、それぞれの行動特性に応じて求められるサービスが必要

⇒拠点性を伸ばすために、ハブとして利用する人の利便性向上はもとより、目的地とする人、拠点とする人に対してもサービスを高めていくことで、より多くの人をひきつける場所にしていく

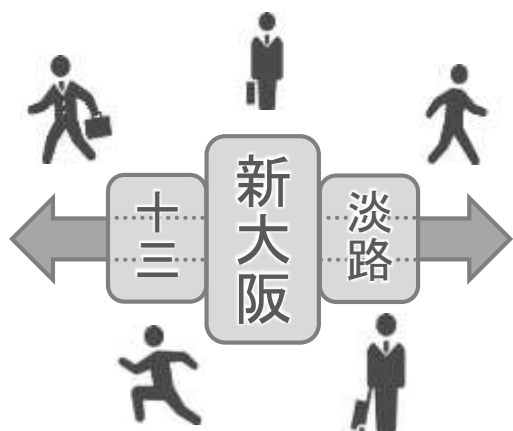
【新大阪駅周辺地域がターゲットとする人】

- ① ハブとして利用する人
- ② 目的地・拠点として活動する人
- ③ 利用する人全員

【求められる内容】

- ⇒ 多様な交通モードの提供や乗り換え利便性の向上
- ⇒ 交流・滞在・活動ができる環境の整備
- ⇒ 居心地のよさが感じられる良好な空間の提供

①ハブとして利用する人
⇒乗り換え利便性向上



新大阪駅周辺地域に
触れ、ファンになる



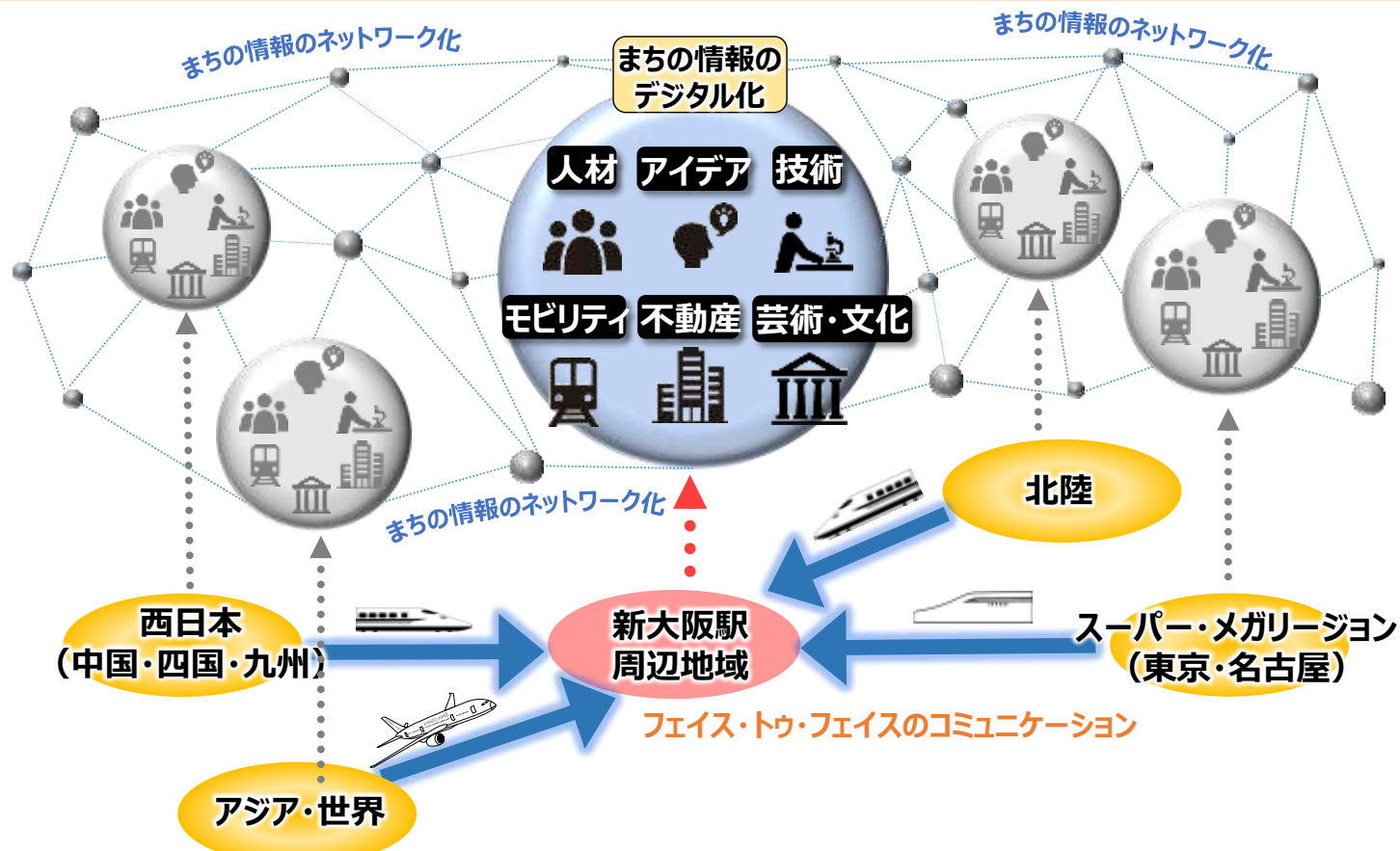
②目的地とする人
拠点として広域で活動する人
⇒交流・滞在活動できる環境の充実



③利用する人全員 ⇒ 居心地のよさが感じられる良好な空間づくり

導入すべき都市機能を考える視点(3)【デジタル社会の進展からの拠点のあり方】

- 世界中のアイデア、人材、不動産などのまちの情報のデジタル化・オープン化・ネットワーク化が進むことにより、物理的な距離を超えて、新しいつながりが生まれやすくなるとともに、様々な芸術・文化などを知る機会が増える
 - そのつながりから、新しい価値を創り出していくためには、交流を重ねることで相互の理解度、信頼関係を深めることや、本物に触れる価値が一層高まる
- ⇒ 新大阪駅周辺地域のまちの情報のデジタル化を進めることはもとより、ソフト・ハードの両面でフェイス・トゥ・フェイスのコミュニケーションができる環境を一体的に提供する



担うべき役割を実現するための導入すべき都市機能のあり方

新大阪駅周辺地域の担うべき役割

- スーパー・メガリージョンの西の拠点
- 広域交通ネットワークの一大ハブ拠点
- 関西・西日本・アジアのゲートウェイ

導入すべき都市機能を考える視点

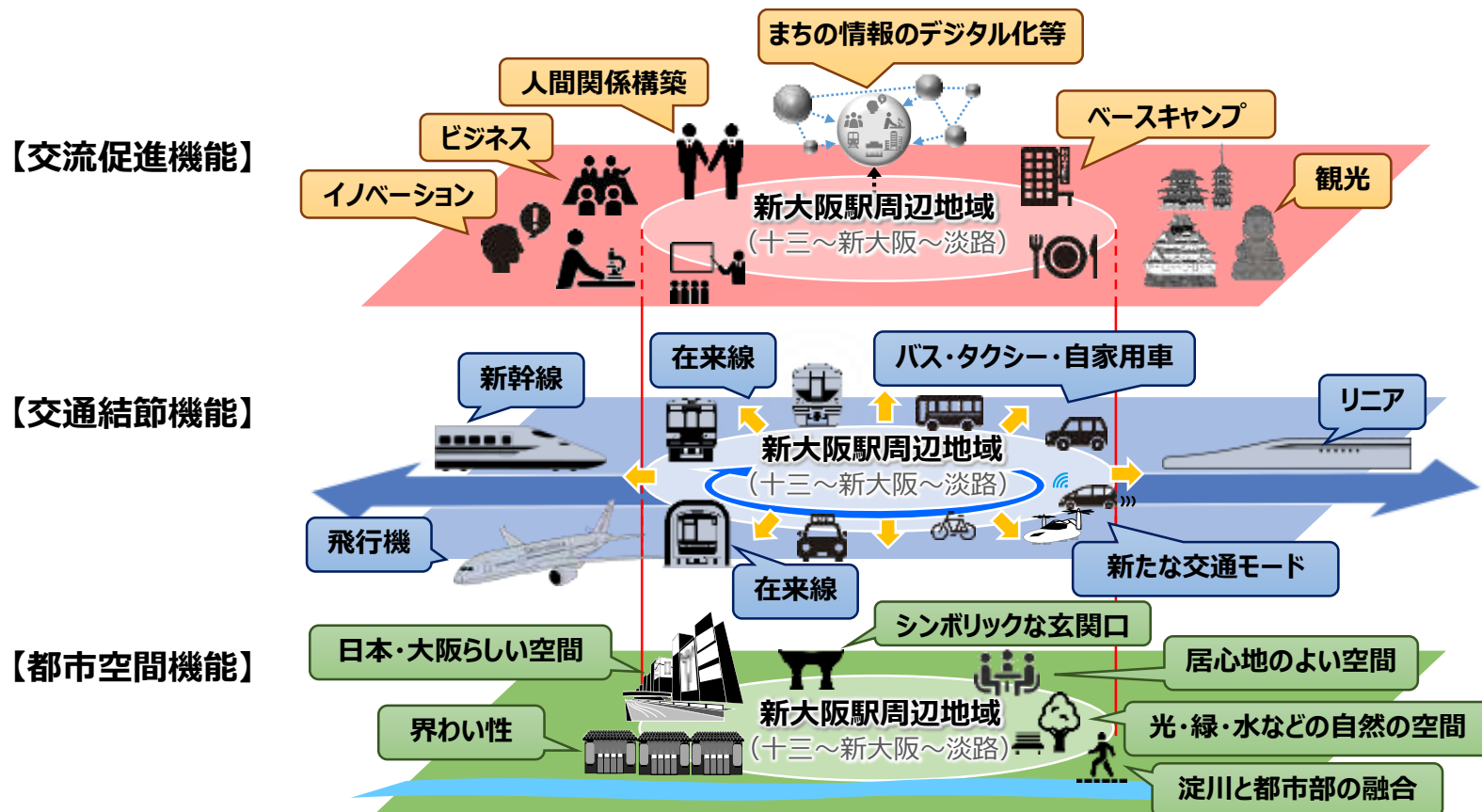
- 地理的条件
広域のハブ、関西の拠点と広域をつなぎ、成長につなげる
- ターゲット目線
乗り換え利便性、交流・滞在・活動、居心地の良さの提供
- デジタル社会の進展
デジタルでつながりが広がり、新大阪で直接的な交流

新大阪駅周辺地域に導入すべき都市機能のあり方

- 世界・日本全体を視野に入れた広域的に交流を促進する機能……………【交流促進機能】
- 日本各地をつなぐ広域交通と地域交通を結節する機能……………【交通結節機能】
- 愛着を感じる都市空間の機能……………【都市空間機能】

導入すべき3つの都市機能のイメージ

- 【交流促進機能】 ○ **新たな価値を発見し、創り出すために、日本、アジアを視野にいれた広域の交流を促進する機能を導入する。**
- 【交通結節機能】 ○ **多様な交通モードを提供するとともに、一人一人に最適な交通モードへの乗り換え利便性を向上し、関西・西日本各地とのアクセスを向上させるために、交通結節機能を強化する。**
- 【都市空間機能】 ○ **新大阪を利用するすべての人に、居心地のよい高質な空間や、誇りや愛着を感じるシンボリックな空間を提供する。**



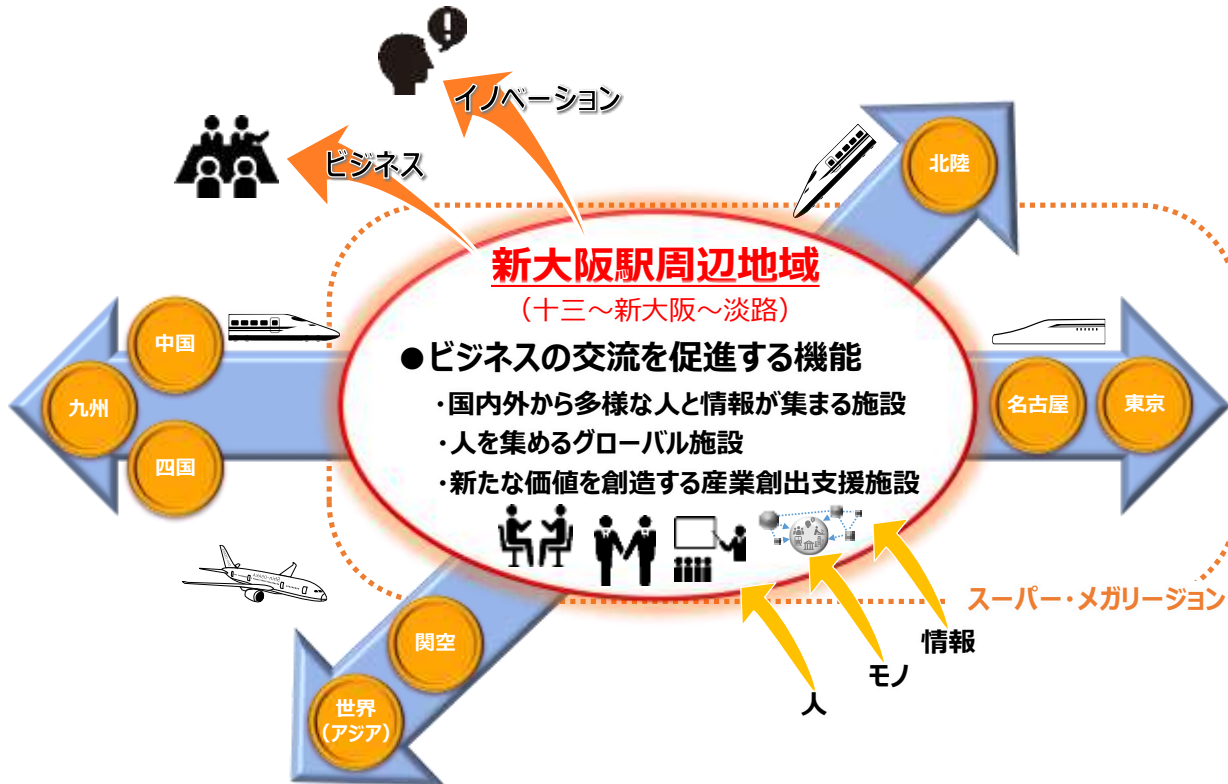
導入すべき都市機能の考え方【交流促進機能(①ビジネス・産業)】

(背景)

デジタル技術(AI・IoT)の進展や産業構造の変化に伴い、サービスの多様化へ対応していくために、産学含めて多様な分野の人や情報、モノが融合し、新しい価値を創出し、イノベーションを起こすことの重要性が高まる。

(導入機能の考え方)

日本国内、アジア、世界など広域的に活動する人が新大阪駅周辺地域に集まり、フェイス・トゥ・フェイスのコミュニケーションを通じて人間関係を築ける機能を一体的に提供することで、人が育ち、新たなビジネス、イノベーションが生まれる場所をつくる。



ビジネスの交流を促進する機能の例

○国内外から多様な人と情報が集まる施設

- ・国内外の人が、気軽に会って、情報・意見交換できるサロンやオフィスなどの施設
- ・全国から人が集まる使い勝手の良いMICE施設

○人を集めるグローバル施設

- ・国際企業や機関の日本の拠点、全国展開する企業の本社
- ・首都機能のバックアップに資する施設
- ・グローバルな活動を支える多様な滞在施設

○新たな価値を創造する産業創出支援施設

- ・スタートアップ・ベンチャー支援施設
- ・開発・実証フィールド施設

導入すべき都市機能の考え方【交流促進機能(②観光・文化・エンタメ)】

(背景)

情報通信技術(ICT)が発達し、オフサイトで得られるバーチャル体験が増加する一方、人との触れ合いや作品、アート、新技術、新しい概念、文化に直接接触して、五感で体験する価値が今以上に高まる。

また、多様化・細分化していくニーズに対応していくために、国内の主要な観光地はもとより、日本各地の価値ある小さなスポットとのネットワークが重要となる。

(導入機能の考え方)

ツーリスト等のベースキャンプとして、新大阪駅周辺地域で快適に滞在できる魅力的な環境を整えつつ、日本各地へ人を送り込むとともに、国内外の多様な人、モノ、情報を呼び込む仕組みを整えることで、日本各地や世界をつなげる。



観光等の交流促進機能の例

○日本各地への優れた送客性を活かした滞在施設

- ・短期から長期に対応した多様な宿泊
- ・ストレスフリーで、安心できる環境
(多言語、24時間化、ファーストエイド対応など)
- ・自然に触れる環境(淀川の自然の活用)

○目的地とツーリストをつなぐ観光支援施設

- ・観光目的に応じた観光コンシェルジュ
- ・目的地までのトータルな交通手配サービス
- ・日本・関西の食文化等を体験できる施設

○広域交通アクセスの良さを活かした目的地となる施設

- ・アジア・日本を代表する文化・芸術施設、劇場、ホール等
- ・水都大阪らしい淀川を活用した舟運・レジャー施設
- ・広域から多様な人や情報を集める高度専門教育機関
- ・大阪・関西の各拠点と連携した医療・産業ツーリズム支援

導入すべき都市機能の考え方【交通結節機能】

(背景)

新大阪とアジア・日本各地をつなぐ空港・新幹線・高速道路の効果の最大化が求められるため、広域交通結節点となる新大阪駅では、新しい技術も含めて、多様な交通モードの提供や、防災性の向上、アクセスルートの多重化などが重要となる。周辺エリアとしては、新大阪駅を中心に交通利便性を高めて広域交通結節点としての拠点の範囲を広げることが求められる。

(導入機能の考え方)

新大阪駅では、日本各地とのネットワーク性を高めるために、多様な交通モード(鉄道・バス・タクシー・新たな交通モードなど)の拡充を図りつつ、ICT、AIやサインなどを活用して、交通モード間の乗り換えのわかりやすさ、快適性など、人に寄り添ったサービスを高める。また、災害発生時の避難空間の確保などを図る。

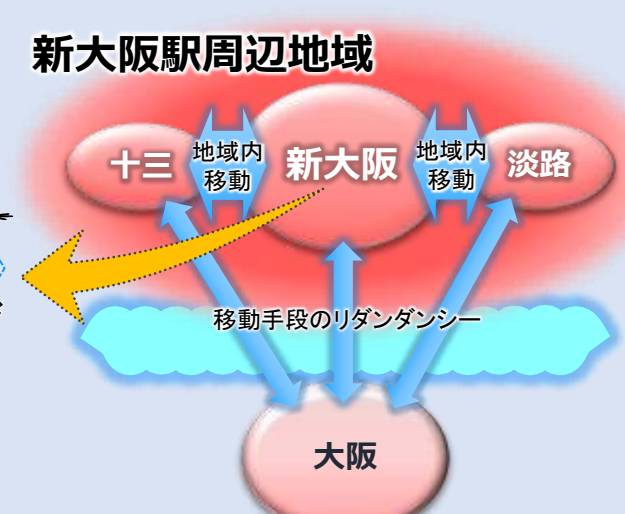
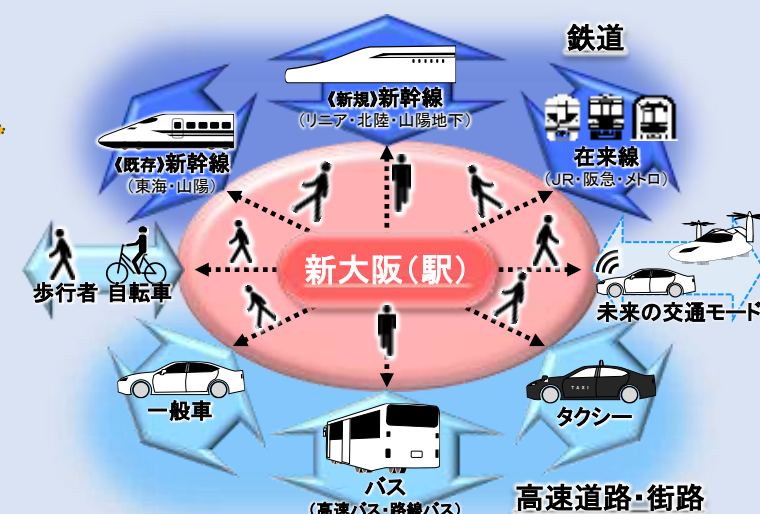
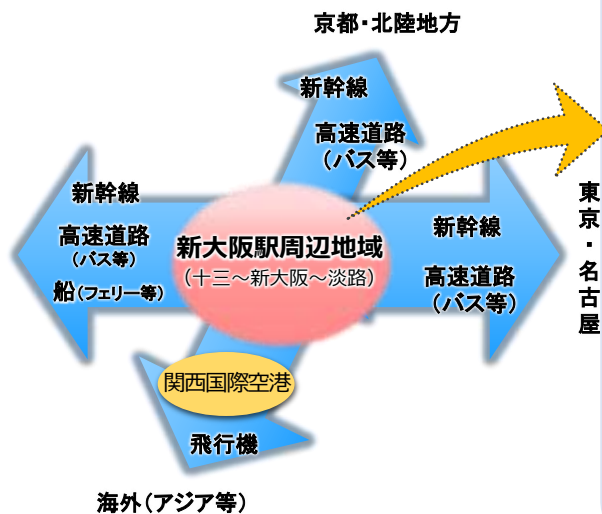
新大阪駅周辺地域内の移動や、大阪駅周辺地域との移動の多様化、シームレス化を、ハード・ソフトを組み合わせることで進めることにより、新大阪の拠点となるエリアを広げるとともに、移動手段の多重化により、リダンダンシーの確保を図る。

【新大阪駅】

- 交通モードの拡充
- 乗り換えのわかりやすさ、快適性の向上

【新大阪駅周辺地域】

- 地域内移動のシームレス化
- 移動手段の多重化



導入すべき都市機能の考え方 【都市空間機能】

(背景)

都市としての魅力を出すためには、ゲートウェイの空間づくりとしては、合理性や経済性はもとより、利用する人に高質な空間を提供していくことの重要性が高まる。

(導入機能の考え方)

日本や世界のゲートウェイとなる新大阪駅周辺地域では、淀川などの自然を最大限に活かすとともに、光、緑、水などの自然的な環境を効果的に取り入れて、利用する人にとって、魅力ある都市空間を創造する。

空間を形成するにあたっては、大阪の成り立ちや文化・風土を踏まえて、新しさと界わい性をうまく融合させ、大阪・関西の人にとって愛着、誇り、居心地の良さ、シンボルが感じられる空間を地域全体で創り出していくことで、地域にとって大切な空間が、海外や大阪都市圏外から来る利用者に愛される空間となっていく。



参考 活用事例イメージ

【関西や西日本、世界で活躍する人たちが、短時間で集まれる新大阪で、交流(ミーティング・アフターファイブなど)を重ね、新たな価値・文化を創り出す】



新大阪駅周辺地域



新大阪駅周辺地域



※本資料に掲載の内容は、将来期待される活用方法のイメージであり、実際の内容とは異なる場合があります。

《第1回検討協議会(前回)》

新大阪駅周辺地域の担うべき役割

- 【スーパー・メガリージョンの西の拠点】
- 【広域交通ネットワークの一大ハブ拠点】
- 【関西・西日本・アジアのゲートウェイ】

《第2回検討協議会(今回)》

新大阪駅周辺地域に導入すべき都市機能

- 【交流促進機能】…世界・日本全体を視野に入れた広域的に交流を促進する機能
- 【交通結節機能】…日本各地をつなぐ広域交通と地域交通を結節する機能
- 【都市空間機能】…愛着を感じる都市空間の機能

《第3回検討協議会(次回)》

新大阪駅周辺地域の対応すべき課題

- 3つの役割を担い、3つの都市機能を導入していくための具体的な課題を検討予定
 - (例) ハード …公共空間のリニューアル及び民間の都市再生の促進
 - ソフト …デジタル・アナログの両面から人に寄り添ったサービスの提供